

設立趣旨書

◆道路橋の性能設計に関する研究小委員会 (委員長 京都大学 八木 知己 准教授)

土木構造物の仕様規定型設計から性能規定型設計への移行がいわれて久しいが、道路橋に関しては性能設計によって享受できるメリットが具体化されるには至っていない。もちろん設計の連続性から考えて、急に新しいタイプの橋梁が現れる訳でもなく、従前の仕様設計で設計される橋梁と何ら変わらない橋梁が設計されても不思議ではない。これまでも性能設計に関する議論は尽くされているが、抽象的な議論になることも多く、今一度、より具体的に性能設計によって享受できる道路橋設計の合理性、自由度について検討を加えるべきと思われる。

本小委員会では、道路橋に関する性能設計に関して勉強会形式で検討を加えたいと考えている。具体的な検討内容については、各委員からの意見を聞きながら小委員会内で議論をしたいと考えているが、まずは比較的性能規定化の進んでいる他の構造形式の設計法や国内外の道路橋の性能設計事例を検討すると共に、「道路橋の性能とは何？」といった基本的な議論から始める予定である。比較的議論の進んでいる安全性、使用性に関する性能項目を始め、復旧性、維持管理面の性能、景観性能に関する項目他、橋梁の性能をまず理解することから、道路橋をより合理的に、より自由に設計する方法の議論が可能になると思われる。

また、構造物の性能設計は、技術的な面ばかりが強調されるが、一般市民にも理解しやすい概念である。震災の影響もあり、壊れない構造物はないという認識は広まりつつあるものの、一般に土木構造物に対する理解が深まったとはいえない。そこで本小委員会のサブテーマとして、土木構造物を一般市民により理解して頂く目的で、道路橋の性能を分かり易く広報する方法も併せて検討したいと考えている。